

令和4年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和5年度～令和7年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	鉄づくり体験事業		
政策	地域と人のつながりの中でみんなが育つまち/子どもを育む環境づくり	担当課	文化振興課
施策①	地域づくりに寄与する特色ある教育活動の推進	電話番号	0193-27-5714
施策②	郷土理解を深め、郷土への誇りと愛着を育む活動	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	学びの多様性の実現に向けて	新規・継続	継続
市長基本施策	多様につながる拠点としての先駆的なまちづくり	補助・単独	補助
事業期間	令和4年度～令和7年度		
事業の概要			
近代製鉄発祥の地である当市の歴史を再認識し、先人から受け継がれてきた「ものづくりの精神」を子どもたちに伝え、郷土を愛する人材の育成を図るため、市内全中学1年生の子どもたちを対象に鉄づくり体験を実施するとともに、鉄の週間に合わせて、鉄の検定を実施するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
釜石市の鉄の歴史を伝えるため、市内の中学校一年生に対して実施する鉄のまち釜石の特色を生かした郷土学習である。実施場所が甲子町大橋の旧釜石鉱山事務所であり、生徒の移送に関してスクールバスでは利用制限があるため、一般のバスを利用している。鉄の検定については、各学校での参加を促すため、各校とのスケジュール調整が求められている。
目的
歴史・文化の継承の手段として、鉄づくり体験をはじめ鉄にかかわる学習の場を提供し、子供たちが郷土に誇りを持つ場を創出する。 市民に対しては鉄の検定が持つ「知る」魅力を生かし、気軽に参加できる検定を目指す。また認定を受けた方が伝承者としての活躍につながる検定となることも視野に取り組む。

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
市内中学校1年生に対する鉄づくり体験 鉄の検定 鉄に関する学習機会の提供		
事業費		
R 5	R 6	R 7
2,011 千円	2,011 千円	2,011 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
鉄づくり体験は、釜石市特有の歴史・文化を感じられる内容であり、教育の場で実施することで、子どもたちの貴重な学習の機会となることから、継続して実施をされることが望ましいと考える。子どもたちが郷土に誇りを持つ場の創出となるよう、引き続き満足度の高い事業となるよう取り組みを展開されたい。			

令和4年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和5年度～令和7年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	学校環境整備事業（小学校）		
政策	地域と人のつながりの中でみんなが育つまち/子どもを育む環境づくり	担当課	教育委員会 総務課
施策①	教育環境の充実とさらなる向上	電話番号	0193-22-8832
施策②	学校施設の適正な維持管理と環境整備	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト		新規・継続	継続
市長基本施策		補助・単独	単独
事業期間	令和4年度～令和7年度		
事業の概要			
小佐野小学校の放送設備改修工事を実施するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
当市の学校施設は、建築年数が30年以上経過しているものが24棟（全施設の58.8%）あり、全ての小中学校施設について、計画的な改修を行いながら、適正な維持管理のもと長寿命化を進める必要がある。	
目的	
校内放送及び災害時等の非常放送を確実にできるよう、市内小学校の老朽化した放送設備を改修するもの。	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
放送設備改修工事		
事業費		
R 5	R 6	R 7
7,150 千円	6,611 千円	13,000 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
児童が安心、安全に学ぶことができる環境の整備につながるため、各設備の改修は必要であると判断した。放送設備改修については、火災時等に使用できない場合、命の危険に関わることから、早期に改修が必要である。照明設備改修については、現在使用している水銀灯の生産が終了しているため、改修が必要であるが、財政状況を鑑み、令和5年度は在庫の水銀灯を使用し、令和6年度以降LEDに改修することとして判断した。			

令和4年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和5年度～令和7年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	学校空調整備事業（小学校）		
政策	地域と人のつながりの中でみんなが育つまち/子どもを育む環境づくり	担当課	教育委員会 総務課
施策①	教育環境の充実とさらなる向上	電話番号	0193-22-8832
施策②	学校施設の適正な維持管理と環境整備	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト		新規・継続	継続
市長基本施策		補助・単独	単独
事業期間	令和4年度～令和7年度		
事業の概要			
市内小学校への特別教室へのエアコン設置工事を実施するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
市内小学校へのエアコン設置については、これまで段階的に普通教室・特別支援教室・職員室等に設置工事を行ってきたが、一部の特別教室等には設置されていない状況である。	
目的	
児童の熱中症対策及び教育環境改善のため、市内小学校の特別教室にエアコンを設置するもの。	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
エアコン設置工事（甲子小学校）		
事業費		
R 5	R 6	R 7
8,470 千円	8,470 千円	16,940 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
児童が安心、安全に学ぶことができる環境整備につながるため、児童の熱中症対策及び学校環境格差として空調設備等の設置は必要であると判断した。なお、各小学校の児童の推移を鑑み、学校の適正規模・適正配置を継続して検討し、計画的に設置することが必要である。			

令和4年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和5年度～令和7年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	学校施設トイレ洋式化事業（小学校）		
政策	地域と人のつながりの中でみんなが育つまち/子どもを育む環境づくり	担当課	教育委員会 総務課
施策①	教育環境の充実とさらなる向上	電話番号	0193-22-8832
施策②	学校施設の適正な維持管理と環境整備	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト		新規・継続	継続
市長基本施策		補助・単独	単独
事業期間	令和4年度～令和7年度		
事業の概要			
市内小学校のトイレ洋式化改修工事を実施するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
学校トイレにおける衛生環境の向上及び防災機能の強化などが課題となっている。
目的
児童の快適な教育環境の向上を図るため、校舎内の既存の和式トイレを洋式トイレに改修するもの。

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
トイレ洋式化改修工事（平田小学校及び甲子小学校）		
事業費		
R 5	R 6	R 7
2,420 千円	49,210 千円	24,000 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
児童が安心、安全に学ぶことができる環境整備につながるため、全ての児童に対して優しい環境整備及び学校環境格差としてトイレの洋式化は必要であると判断した。なお、各小学校の推移を鑑み、学校の適正規模・適正配置を継続して検討し、計画的に設置することが必要である。			

令和4年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和5年度～令和7年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	学校環境整備事業（中学校）		
政策	地域と人のつながりの中でみんなが育つまち/子どもを育む環境づくり	担当課	教育委員会 総務課
施策①	教育環境の充実とさらなる向上	電話番号	0193-22-8832
施策②	学校施設の適正な維持管理と環境整備	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト		新規・継続	継続
市長基本施策		補助・単独	単独
事業期間	令和4年度～令和7年度		
事業の概要			
市内中学校施設の長寿命化計画に基づいた計画的な改修工事を実施するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
当市の学校施設は、建築年数が30年以上経過しているものが24棟（全施設の58.8%）あり、全ての小中学校施設について、計画的な改修を行いながら、適正な維持管理のもと長寿命化を進める必要がある。	
目的	
市内中学校の校舎等について、生徒が安全・安心に利用できるよう施設の長寿命化を勘案しながら、計画的に改修等を行うもの。	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
校舎改修工事（甲子中学校）		
事業費		
R 5	R 6	R 7
15,400 千円	224,955 千円	14,300 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	見直し余地あり	適切
評価結果			
生徒が安心、安全に学ぶことができる環境の整備につながるため、各設備の改修及び工事は必要であると判断した。甲子中学校については、釜石市学校施設長寿命化計画において「D」判定であることから早期に工事が必要である。照明設備改修については、現在使用している水銀灯の生産が終了しているため、改修が必要であるが、財政状況を鑑み、令和5年度は在庫の水銀灯を使用し、令和6年度以降LEDに改修することとして判断した。			

令和4年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和5年度～令和7年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	学校空調整備事業（中学校）		
政策	地域と人のつながりの中でみんなが育つまち/子どもを育む環境づくり	担当課	教育委員会 総務課
施策①	教育環境の充実とさらなる向上	電話番号	0193-22-8832
施策②	学校施設の適正な維持管理と環境整備	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト		新規・継続	継続
市長基本施策		補助・単独	単独
事業期間	令和4年度～令和7年度		
事業の概要			
市内中学校への特別教室へのエアコン設置工事を実施するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
市内小中学校への空調設備設置については、これまで段階的に普通教室・特別支援教室・職員室等に設置工事を行ってきたが、一部の特別教室等には設置されていない状況である。
目的
生徒の熱中症対策及び教育環境改善のため、市内中学校の特別教室にエアコンを設置するもの。

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
エアコン設置工事（大平中学校）		
事業費		
R 5	R 6	R 7
8,470 千円	8,470 千円	16,940 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
生徒が安心、安全に学ぶことができる環境整備につながるため、児童の熱中症対策及び学校環境格差として空調設備等の設置は必要であると判断した。なお、各中学校の推移を鑑み、学校の適正規模・適正配置を継続して検討し、計画的に設置することが必要である。			

令和4年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和5年度～令和7年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	学校施設トイレ洋式化事業（中学校）		
政策	地域と人のつながりの中でみんなが育つまち/子どもを育む環境づくり	担当課	教育委員会 総務課
施策①	教育環境の充実とさらなる向上	電話番号	0193-22-8832
施策②	学校施設の適正な維持管理と環境整備	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト		新規・継続	継続
市長基本施策		補助・単独	単独
事業期間	令和4年度～令和7年度		
事業の概要			
生徒の学習・生活の場であるとともに、災害時には避難所にもなる学校施設の衛生環境改善のため、トイレの洋式化を計画的に進め、快適な状態を保ちながら、適切な維持管理を行うもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
社会環境の変化に伴い、公共施設、商業施設等のトイレにおいては温水洗浄や暖房便座が普及するなど、快適化が進んでいる。一般家庭においてもトイレの洋式化が進み、和式トイレを利用できない児童・生徒が多くなり、学校トイレの洋式化が急務となっている。市内小中学校の洋式トイレの設置率が40%未満の校舎並びに未設置の体育館の改修を優先的に進めていく。	
目的	
トイレの洋式化により、学校施設の環境改善を図るもの。また、市内学校施設（校舎、体育館）については、災害時の避難所としての役割も担っており、防災機能の向上も図られる。	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
トイレ洋式化工事（甲子中学校）		
事業費		
R 5	R 6	R 7
1,210 千円	25,210 千円	24,000 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
生徒が安心、安全に学ぶことができる環境整備につながるため、全ての生徒に対して優しい環境整備及び学校環境格差としてトイレの洋式化は必要であると判断した。なお、各小学校の推移を鑑み、学校の適正規模・適正配置を継続して検討し、計画的に設置することが必要である。			

令和4年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和5年度～令和7年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	かまいし絆会議運営事業		
政策	地域と人のつながりの中でみんなが育つまち/子どもを育む環境づくり	担当課	学校教育課
施策①	地域づくりに寄与する特色ある教育活動の推進	電話番号	0193-22-8833
施策②	児童生徒の主体的な活動の推進	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	学びの多様性の実現に向けて	新規・継続	継続
市長基本施策	市民が主役の開かれた市政	補助・単独	単独
事業期間	平成29年度～令和7年度		
事業の概要			
児童生徒の地元への愛着や互助の精神の醸成等を目的として、平成29年度から釜石市内の児童生徒で構成される「かまいし絆会議」を組織し、学校の枠組みを超えた様々な活動（①釜石の未来について考え、交流する活動、②地域に貢献する活動、③地域や社会とのつながりを大切にした活動、④その他目的を達成するための活動）を行うもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
これまで RWC に向けた様々な取組を、復興への感謝の気持ちをもって活動した。今後も活動を継続することで、子どもたちが引き続き自分たちの地域のことに関心を持ち、課題解決へ向け主体的に取り組む機会を提供する必要がある。
目的
地域貢献や社会参画への意識の向上のために児童生徒が主体的に取り組む活動を推進し、地元への愛着や互助の精神の醸成、地域の未来について関心をもつことを目的とする。

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
①児童生徒が釜石の未来について考え、交流する活動 ②地域に貢献する活動 ③各中学校区に応じた地域や社会とのつながりを大切にした活動 ④その他目的を達成するための活動		
事業費		
R 5	R 6	R 7
572 千円	572 千円	572 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	見直し余地あり	見直し余地あり
評価結果			
児童、生徒が自分たちの生活や地域のことに課題意識を持ち、解決に向けて自分たちで考えることにより、主体的に取り組む姿勢と実践力の向上につながるため、必要であると判断した。なお、全児童生徒の能力向上につなげるため、全児童生徒への共有体制の構築等の検討が必要である。			



令和4年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和5年度～令和7年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	教材備品等管理費（小学校）		
政策	地域と人のつながりの中でみんなが育つまち/子どもを育む環境づくり	担当課	学校教育課
施策①	教育環境の充実とさらなる向上	電話番号	0193-22-8833
施策②	学校施設の適正な維持管理と環境整備	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト		新規・継続	継続
市長基本施策	市民が主役の開かれた市政	補助・単独	単独
事業期間	令和3年度～令和7年度		
事業の概要			
学習指導要領に基づいた教育課程の実施のため、標準的に必要となる教材備品の整備を計画的に進めることにより教育環境の充実を図るもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
製造から長年経過しているため、ピアノ本体の劣化や部品の摩耗が進み、使用に支障が生じている。また毎年度実施しているピアノの調律の結果において、D判定が多くなってきている。 （全22台中 A判定：4台 B判定：12台 C判定：2台 D判定：4台） ※D判定：部品の傷みや摩耗・劣化がひどく満足な演奏ができない状態
目的
使用に支障が生じているピアノを入れ替えることにより、学校教育環境の充実を図る。

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
教育環境を整えるため、現在配置されているピアノで交換が必要な学校について入れ替えを行う。		
事業費		
R 5	R 6	R 7
2,563 千円	0 千円	2,563 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	適切	適切
評価結果			
学校指導要領に基づいた教育課程の実施のため、文部科学省の教材整備指針で示されている整備目安に基づいた必要最低限の設置・更新が必要であるため、継続実施と判断。なお、学校の適正規模・適正配置を継続して検討及び中学校に設置してあるピアノの調律結果と調整し、設置場所や更新個数の検討が必要である。			

令和4年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和5年度～令和7年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	学校適応支援員配置事業		
政策	地域と人のつながりの中でみんなが育つまち/子どもを育む環境づくり	担当課	学校教育課
施策①	教育環境の充実とさらなる向上	電話番号	0193-22-8833
施策②	相談機能の充実	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	学びの多様性の実現に向けて	新規・継続	新規
市長基本施策	多様につながる拠点としての先駆的なまちづくり	補助・単独	単独
事業期間	令和5年度～令和7年度		
事業の概要			
不登校対策が当市の喫緊の教育課題の1つとなっている現状を踏まえ、新たな不登校児童生徒の出現を防止するための施策として、学校を欠席がちであり、登校しても自分の教室以外の別室を居場所としている、いわゆる別室登校の児童生徒を対象とし、長期欠席になることを防ぐとともに、学級への復帰を支援することを目的に、適応支援員を配置し、不登校の改善を図るもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
当市の不登校児童生徒の出現率は、令和元年度から令和3年度において、3年連続で沿岸南部教育事務所管内の出現率を上回っており、かつ小学校の不登校人数は4.8倍となっている。対策としては、学校以外の場所を学びの場とする「フリースクール」の活用が考えられるが、当地区には通学可能なフリースクールはなく、各学校は別室登校の対応を行っているが、現在の教員定数では十分に対応できず、また教員の負担増にもなっている。
目的
学校適応支援員を配置することによって、校内にフリースクール的な居場所をつくる。このことによって、学習支援や社会的な自立を促す支援及び個々に応じた支援を行うことで、不登校生徒の減少及び改善を図ることを目的とする。

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
学校適応支援員2名を市内中学校2校に各1名配置する。 学校適応支援員の役割（1）学習支援（2）社会的な自立に向けた支援 （3）進路選択に関する支援（4）学級復帰や改善に向けた校内のコーディネーター役（改行調整のみ）		
事業費		
R 5	R 6	R 7
5,211 千円	5,211 千円	5,211 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	適切	適切
評価結果			
支援員の配置により、別室登校の対応体制が強化され、支援が必要な児童生徒が本来の学習環境に戻るための支援及び不登校になる児童生徒を未然に防ぐことが可能となるため、実施として判断した。併せて、別室登校となる問題・原因の解消に努めること。			

令和4年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和5年度～令和7年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	厨房備品更新事業		
政策	地域と人のつながりの中でみんなが育つまち/子どもを育む環境づくり	担当課	学校給食センター
施策①	地域づくりに寄与する特色ある教育活動の推進	電話番号	0193-29-1271
施策②	学校給食を生かした食育の推進	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト		新規・継続	新規
市長基本施策	市民が納得する財政運営	補助・単独	単独
事業期間	令和5年度～令和7年度		
事業の概要			
給食の主菜・副菜を調理する厨房機器に不具合や故障した場合に、修繕部品が製造中止等により調理出来ずに修繕が不可能となり給食調理が出来なくなることが危惧されることから、厨房備品の更新を行うもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
・釜石市内小中学校 14 校に栄養バランスを考えた完全給食を提供しているが、給食調理を行う厨房機器の劣化により均一な温度管理に支障をきたしており、食中毒のリスクが高まることが懸念されている。また、冷機器等、必要な作動停止等不測事態発生に不安を抱えつつある
目的
安全安心な学校給食を学校の給食実施日に確実に提供し、学校給食を活かした食育の推進に繋げたい

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
厨房機器更新		
事業費		
R 5	R 6	R 7
16,000 千円	26,730 千円	18,370 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	適切	適切
評価結果			
厨房備品の劣化等は異物混入に繋がるため、早期に更新が必要であると判断した。なお、備品が高額なことから、財政状況を鑑み、複数の事業者で比較を行うとともに、平準化を図り、不具合が生じている備品から優先的に更新することが必要である。			

令和4年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和5年度～令和7年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	学校給食用牛乳保冷庫更新事業		
政策	地域と人のつながりの中でみんなが育つまち/子どもを育む環境づくり	担当課	学校給食センター
施策①	地域づくりに寄与する特色ある教育活動の推進	電話番号	0193-29-1271
施策②	学校給食を生かした食育の推進	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト		新規・継続	新規
市長基本施策	市民が納得する財政運営	補助・単独	単独
事業期間	令和6年度～令和7年度		
事業の概要			
市内小中学校 14 校に設置してある給食用牛乳保冷庫について、学校給食牛乳を適正管理し提供できるように設置から 20 年経過している平成 14 年度年製保冷庫を使用している小学校 5 校、中学校 3 校の更新を行うもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
・学校給食で提供する牛乳は学校給食衛生管理基準に基づき 10℃以下で保存することとなっている。しかしながら牛乳保冷庫の設置から 20 年ほど経過し適正温度で保存することが出来ないという事が発生し、その都度修繕等で対応をしてきている
目的
・適正温度で牛乳を保存管理し、安全安心な学校給食を提供する

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
・平成 14 年度年製牛乳保冷庫を使用している小学校 5 校、中学校 3 校について更新する		
事業費		
R 5	R 6	R 7
0 千円	2,204 千円	2,369 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	見直し余地あり	適切
評価結果			
全児童生徒に安全、安全な給食を提供するために必要設備であるため、実施として判断した。なお、現在、不具合が生じている状況ではなく、緊急に整備が必要ではないことから、状況を確認しながら更新時期の検討が必要である。			

令和4年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和5年度～令和7年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	学校給食地産地消推進事業		
政策	地域と人のつながりの中でみんなが育つまち/子どもを育む環境づくり	担当課	学校給食センター
施策①	地域づくりに寄与する特色ある教育活動の推進	電話番号	0193-29-1271
施策②	学校給食を生かした食育の推進	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人口減対策	新規・継続	新規
市長基本施策		補助・単独	単独
事業期間	令和5年度～令和7年度		
事業の概要			
釜石で生産、又は加工された食材を学校給食に提供することで、学校給食を通じて釜石の産業を児童生徒に PR し児童生徒の学ぶ機会を創出するとともに、地元生産者の活性化を図るもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
野菜や米などはこれまでも釜石産のものを使用し学校給食として提供している。魚については市全体の水揚げ量が減少傾向にありごくわずかではあるが釜石産のものを使用している。
目的
現在市が参加するコンソーシアムで実施しているサクラマス海面養殖試験において、今後釜石はまゆりサクラマスを安定して水揚げすることが可能となれば積極的に学校給食に取り入れて児童生徒に PR したい。また、すずこまを筆頭に釜石産の野菜や米についても同様に PR し、市内で多くのものが生産されていることを学校給食を通じて発信することを目的とする。

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
<ul style="list-style-type: none"> <li>学校給食センター、水産農林課、及び生産者の3者で打ち合わせを行い、給食に必要な食材の量や生育状況を共有する。</li> <li>釜石産の食材を使用する際は、毎月発行している給食センターだよりに生産者の声を掲載する。</li> </ul>		
事業費		
R 5	R 6	R 7
1,964 千円	1,964 千円	1,964 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	適切	適切
評価結果			
<p>地場産の食材を生かした給食の提供により、地域の特産物への理解を通じて、食及び地域への関心を高めることができるため、必要であると判断した。なお、地方創生推進交付金の採択を実施の条件とする。地方創生交付金が採択された場合は、地方創生推進交付金の交付期間終了後も持続可能となるよう努めること。</p>			

令和4年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和5年度～令和7年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	子ども・子育て支援給付事業（給食費の一部無償化事業）		
政策	地域と人のつながりの中でみんなが育つまち/子どもを育む環境づくり	担当課	学校給食センター
施策①	地域づくりに寄与する特色ある教育活動の推進	電話番号	0193-29-1271
施策②	学校給食を生かした食育の推進	ハード・ソフト	0
重点プロジェクト	人口減対策	新規・継続	新規
市長基本施策		補助・単独	
事業期間	令和5年度～令和7年度		
事業の概要			
多子世帯の経済的負担を軽減し、もって子育て支援を推進するため、市内小中学校に就学している第3子以降の児童生徒の給食費を無償化するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
学校給食法第11条第2項の規定により、保護者の負担とされており、保護者から徴収している。
目的
多子世帯の経済的負担を軽減し、もって子育て支援を推進する。

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
市内小中学校に就学している第3子以降の児童生徒の給食費を無償化する。		
事業費		
R 5	R 6	R 7
5,000 千円	5,000 千円	5,000 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	見直し余地あり	適切
評価結果			
当該事業は、ライフステージに応じた子育て支援のために実施され、一定の成果を上げている支援である。一方、子育て施策が順次拡充されている中で、当給付が子育て世代のインセンティブとして効果的な支援策となっているか検証する必要がある。また、当給付は、ほぼ全市町村で実施されているため、国の一体の給付と合わせて一律給付するよう要望を継続すること。			